

一般
会計

2019年度予算(前年比6.4%増) 106億5403万円の理由は

3月
定例会

～新年度一般会計予算の特徴～

1. 昨年決算時の105億円を超える当初予算額は、前年比6.4%増の大型予算
2. 扶助費の6.6%増、普通建設事業にかかる投資的経費の33%増が特徴的理由（財政調整基金4億円の繰り入れで、何とか編成を）
3. 借入金は10億5300万円で6.4%増、期待は国・県の補助金

町長一期目最後の年となる新年度は思い切った予算編成となっている。建設投資や子育て充実のための助成が随所に見られ、住民の思に応えるものになつてゐるが、基金の繰入、

最近の月例経済報告では「景気は緩やかに回復している」となつてゐる一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や中国経済の先行きなど海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響で、依然として不透明。

★議会から一言

町債高も大きく10億を超えている。国、県の交付金や補助金の額もさほど期待できないと考えられる。

今後の補正予算など厳しい局面も予想できるので、しつかり注視していきたい。

力ある地方をつくるための施策の展開が求められ地方税財源の充実確保を図つていくことが重要だ。

新たな行政課題や社会経済状況の変化に的確に対応するため、第4次松前町総合計画に掲げられている各種施策に取り組み、誰もが松前町に（二元代表制の柱は）住むことを誇りに思えるような成熟した『誇れるライフタウン』にするため前年比6.4%増の一般会計、総額6.5%増の182億

大型当初予算をどう考えるか！

今後の景気動向から

地方としては

新年度の予算は

あらまし

3月定例会は、2月26日から3月14日までの17日間の会期で開催。

★第1回目に報告1件、条例3件、議決を求めるもの2件、議選1件、予算10件の案件が上程され、うち15件をそれぞれ所管別に総務・産業建設、文教・厚生の常任委員会に付託した。初回は30年度補正予算。3月6日には各常任委員会で

審議。

★第2回目に一般質問を行い、4議員が登壇し町政をたたいた。

★最終日に期間中に審議された各委員会の報告を受け、すべて原案通り可決。追加議案として2件の人事案件に同意し、追加補正予算案件1件についても原案通り可決した。

（詳細については、各ページ参照）

●平成31年3月末の地方債(借入金)と基金(貯金)の在高状況(一般会計分)

項目	金額	備考
地方債 (借入金) 在高	110億8454万円	見込額
	35万9724円	市民一人あたり
基金 (貯金) 在高	18億7107万円	見込額
	6万721円	市民一人あたり

(平成31年3月末現在、人口30814人)